

Mémoires 2022

第74回 阪神ジュベナイルフィリーズ(GI)



前走を糧として リバティアイランド

極上の末脚で差し切り勝ち。才女が前走の悔しさを晴らし2歳女王に輝いた。

2戦2勝の無敗馬であるコスモス賞勝ちのモリアーナ、もみじSを制したウンブライル、重賞・アルテミスSの覇者ラヴェルの3頭が注目された2022年の阪神ジュベナイルフィリーズ。しかし、それらを抑えて1番人気に推されたのは、前走で2着に敗れていたリバティアイランドだった。

レースは600m33秒7のハイペースで流れた。ファンタジーS優勝のリバーラ、新潟2歳Sのキタウイングは好位を快走。函館2歳Sのプトンドールは後方、札幌2歳Sのドゥーラはラヴェルと並んで最後方に位置する。

そんな中、馬群の中団を進んだリバティアイランドは勝負どころで外へ。大外を回って直線に向き、満を持して川田将雅騎手がゴーサインを出す、そこからは圧巻だった。ぐんぐん伸びて残り200m過ぎで先頭に立ち、さらに突き放す。最後はシンリョウカとドウアイズの2着争いに2馬身半差の完勝となった。

新潟・芝1600mのデビュー戦を、上がり3ハロン推定31秒4という衝撃的な末脚で制したリバティアイランド。しかし続くアルテミスSでは馬群に囲まれ進路を失う。直線、やっとの思いで外へ持ち出して追い込んだが、ラヴェルを捉え切れず2着に敗れていた。

川田騎手は阪神ジュベナイルフィリーズでの勝利後「前回はいろんなことを学ぶレースをした分、負けてはしまいましたけれど、とても良い内容で学んでくれたので、それを今回は必ず生かすということを念頭に置いてリズム良く競馬ができました」とコメントした。

中内田充正調教師はこれが2歳GI通算4勝で、うち3勝が川田騎手の手綱によるもの。固い絆で結ばれた名コンビがまた1頭、豊かな才能を持つ若駒を送り出した。

第74回阪神ジュベナイルフィリーズ(GI)									
12/11 阪神競馬場 1600m(芝・右・外)晴・良 18頭									
着順	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	調教師	タイム/差	人気	通過順位
1	リバティアイランド	牝	2	54	川田 将雅	中内田充正	1:33.1	①	⑧⑧
2	シンリョウカ	牝	2	54	木幡 初也	竹内 正洋	2 1/2	⑩	⑧⑧
3	ドウアイズ	牝	2	54	吉田 隼人	庄野 靖志	クビ	⑫	⑫⑫
4	アロマデローサ	牝	2	54	D.イーガン	池添 学	3/4	⑬	⑥④
5	ミジシツピテソーロ	牝	2	54	原 優介	畠山 吉宏	1	⑯	⑩⑩
6	ドゥーラ	牝	2	54	斎藤 新	高橋 康之	クビ	⑥	⑫⑫
7	サンティーテソーロ	牝	2	54	横山 和生	栗田 徹	2 1/2	⑤	⑪⑪
8	エイムインライフ	牝	2	54	酒井 学	角田 晃一	1 1/4	⑰	⑮⑮
9	ミスヨコハマ	牝	2	54	M.テムーロ	斎藤 誠	3/4	⑪	⑩⑩
10	プトンドール	牝	2	54	鮫島 克駿	池添 学	1 1/4	⑦	⑭⑬
11	ラヴェル	牝	2	54	坂井 瑠星	矢作 芳人	1/2	④	⑫⑫
12	モリアーナ	牝	2	54	武藤 雅	武藤 善則	ハナ	②	⑥⑦
13	イティネラートル	牝	2	54	岩田 望来	長谷川浩大	1 1/4	⑮	②②
14	キタウイング	牝	2	54	和田 竜二	小島 茂之	ハナ	③	⑤④
15	ウンブライル	牝	2	54	横山 武史	木村 哲也	1 1/4	⑧	⑮⑭
16	ハウビア	牝	2	54	菱田 裕二	岡田 稲男	2	⑱	⑫⑭
17	ムーンプローブ	牝	2	54	松山 弘平	上村 洋行	2	⑲	②④
18	リバーラ	牝	2	54	石橋 脩	高柳 瑞樹	5	⑨	②③

単勝 ⑨260円 複勝 ⑨140円 ③910円 ⑬560円 枠連(2-5) 3,920円
 馬連 ③-⑨7,550円 馬単 ⑨-③9,980円 ワイド ③-⑨2,540円 ⑨-⑬1,580円 ③-⑬15,800円
 3連複 ③-⑨-⑬64,960円 3連単 ⑨-③-⑬178,460円

ハロンタイム 12.1-10.5-11.1-11.5-11.8-11.1-12.5-12.5
 通過タイム 600m33.7-800m45.2-1000m57.0-1200m1:08.1-1400m1:20.6



優勝馬: **リバティアイランド**
 2020.2.2生 牝 鹿毛
 父: ドゥラメンテ
 母: ヤンキーローズ
 母の父: All American
 生産: 安平・ノーザンファーム
 馬主: (有) サンデーレーシング